

つちおと

平成30年6月22日発行
宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5
気仙沼市シルバー人材センター内

5/23[㊞] ～ 気仙沼市復興祈念公園アイデアコンペ表彰式 ～

5月23日、気仙沼市が陣山地区に整備する復興祈念公園のアイデアコンペ表彰式が市役所ワン・テン庁舎で行われ、18作品が表彰されました。

公園全体とモニュメントのデザインや配置などを提案する総合部門に29作品、モニュメントだけを提案するモニュメント部門に132作品の応募がありました。

復興祈念公園施設検討委員会が審査し、部門ごとに優秀賞5点、アイデア賞4点が選ばれ、モニュメント部門では地元の中高生4名が受賞しました。

公園整備の財源には復興交付金を活用し、今後、総合部門で優秀賞に選ばれた1作品を基本設計の核として検討に入る予定です。



6/12[㊞]13[㊞] ～ 東北復興水産加工品展示商談会2018の開催 ～

6月12日から13日にかけて仙台国際センター展示棟にて「東北復興水産加工品展示商談会2018」が開催されました。

東日本大震災によって甚大な被害を受けた東北地区の水産加工業者の多くは、まだまだ売り上げの回復が遅れている状況です。そのため、同商談会は、東北地方の水産業界のビジネスニーズとチャンスの創出、バイヤーの引き合いチャンネルの拡充、出展者間の交流と連携の促進に取り組むことで仕事を増やし、復興を後押しすることを目的として開催され、今回で4回目となりました。当日は、青森、岩手、宮城、福島、茨城から137の水産加工業者が出展し、吉野復興大臣をはじめ多くの関係者もかけつけました。



5/27^日

～ 第1回気仙沼観光フェスティバル ～

気仙沼観光推進機構が設立1周年を迎え、市観光のさらなる魅力向上と発信強化を目指し、市の観光関係者が一堂に会する「第1回気仙沼観光フェスティバル」が開催されました。

初夏の気仙沼は「初ガツオ」と「徳仙丈のツツジ」の2つが旬。ともに日本随一を誇り、この魅力をPRするため、会場も観光の拠点「気仙沼海の市」と観光スポット「徳仙丈山」の2か所に設定し、シャトルバスで回遊していただきました。

当日、「海の市」会場では、各種郷土芸能や熊谷育美さんのライブコンサートもこのフェスティバルに花を添えるなど、初夏の気仙沼の海と山を味わう初のイベントに3,800人が来場し大いに盛り上がりました。

6/1^金

～ 気仙沼市鹿折公営墓地の使用者募集 ～

気仙沼市では、震災により数多くの犠牲者と既存墓地が被害を受けて、墓地を求める要望が多く寄せられ、それに対応するため、震災時に仮埋葬の場所として使用した鹿折みどりのふれあい広場を運動広場から公営墓地に転用して、これまで整備を進めてまいりました。この度、墓地造成工事が完了し、6月1日から墓地使用者の募集を開始いたしました。

5/29^火

～ 県産飼料用米を配合した飼料で育てたみやぎサーモン ～

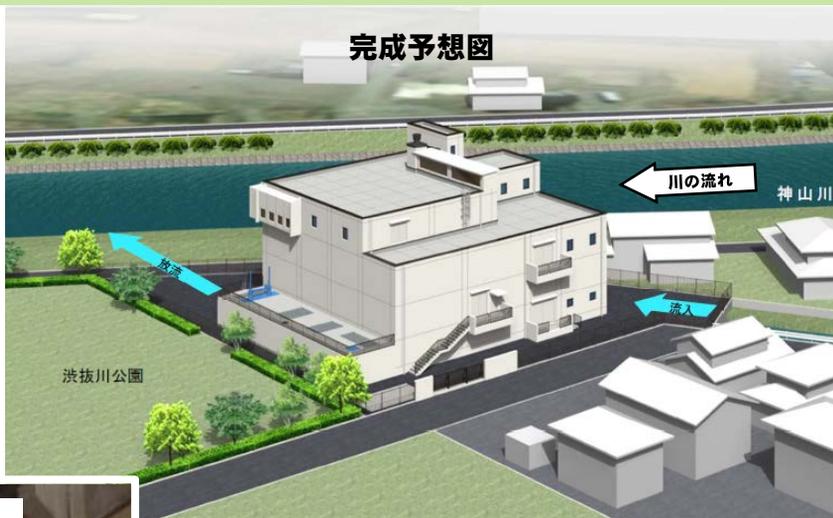
5月29日、仙台駅前アエルにて宮城県産の飼料米を配合した飼料で育てられたみやぎサーモンの発表会が開かれました。みやぎサーモンは農林水産省が進める地理的表示(GI)制度の認定を受けた産品で、神経締めや活け締めが施されたサーモンです。このみやぎサーモンに関して、東北大学大学院農学研究科をはじめ、JF宮城県漁協、JA全農みやぎなどが連携し、宮城県産の飼料米を配合した飼料の開発等が2016年から進められ、初めての出荷となりました。発表会への参加者からは、非常に上品な口当たりとの評価が得られていました。今後、飼料米の活用を進めることで、国産米利用拡大の推進、養殖コストの削減とともに、海外産の養殖サーモン類との差別化などが期待されます。なお、発表されたサーモンはみやぎ生協の県内49店舗にて販売されています(7月下旬まで)。



～ 進む震災復興【(仮称)南郷雨水ポンプ場】～

東日本大震災により神山川左岸地区(南郷、本郷、田中前地区)においては、地盤沈下等により雨水排水機能が低下しました。震災前の平成13年度～平成22年度の10年間ににおいては道路冠水が1回、避難勧告が1回であったが、震災後の平成23年度～平成29年度までの7年間で、道路冠水が9回、避難勧告が7回もありました。

このような状況から、気仙沼市では神山川左岸地区において冠水対策を進めており、下水道雨水幹線整備と併せ、渋抜川公園に隣接して、南郷雨水ポンプ場を整備しているところです。



完成予想図

大型ポンプ (エンジン駆動式) 搬入



ポンプ場は鉄筋コンクリート造3階建て、延べ床面積は約1,230㎡。電動式(常時)とエンジン駆動式(大雨時)のポンプが、各2基(計4基)計画されております。排水能力は毎秒9.8m³(1分間で25mプール1杯分)で、雨水を神山川に強制排水する計画になっています。

工事は、平成28年5月に着工しました。現在、下水道雨水幹線が平成29年度末に完成したことにより、神山川左岸地区における約3分の1の雨水が、条南中学校南側の排水口にて神山川へ自然流下排水されております。これにより南郷地区への排水負荷は軽減されている状態です。さらに県道気仙沼唐桑線より海側においては、渋抜川をコンクリートで覆ったことにより悪臭もシャットアウトされております。

南郷雨水ポンプ場は平成30年9月に暫定供用を行う予定です。その後、県が進める神山川堤防整備と調整を図りながら、神山川への吐口工等を整備し、平成31年度を目途に完成形での供用を目指しております。整備が全て完成すると、川口町にある気仙沼市終末処理場から24時間体制で遠隔操作が可能となり、夜間の大雨時にも迅速な対応が実現されます。ポンプ場の建設費は約30億円で、国の復興交付金が充てられます。

コンクリート打設



条南中学校生徒による工事見学会



苦勞した点等を気仙沼市建設部下水道課にお聞きしました。

『事業が河川堤防事業と同時並行であったため、設計の見直し等を繰り返しながら進めざるを得ませんでした。また、杭基礎の施工中に大きな岩塊が見つかり対策に苦慮しました。』との苦勞話の他、『設計から工事に至る各段階にて、住民説明会を開催し、住民意見を反映させながら事業を進めてきました。また、条南中学校生徒による工事見学会を開催するなど、住民に寄り添って事業を進めてきました。』とのお話を頂きました。

気仙沼市では、一日も早いポンプ場供用を実現するため、暫定型での供用を、計画してくれたところです。

関係者の皆様ご尽力ありがとうございます。

～ 応援職員便り ～

今回は、応援職員の小泉敏一さんです。気仙沼市水産基盤整備課に勤務。横浜市出身。平成29年4月から復興庁の復興支援専門員として、漁集事業に取り組んでいます。

平成29年4月より、気仙沼市役所に身を寄せて震災復興の業務に励んでいます。漁集事業は被災した漁業集落において、安全な居住環境を確保するための道路等の整備を通じて復興を促進するものです。具体的には、漁港から高台へ迅速に避難するための道路や避難路を整備します。

私は、気仙沼市内の本吉地区を担当し、設計及び施工の監督をしています。工事調整を通じて地元の方たちと意見交換などがあり、有意義な交流ができました。また、市役所の人たちからの的確なアドバイスをいただき、業務を無事に完了することができました。皆さまの応援に感謝しています。

今年度の目標は漁集事業に関わる工事を発注させることです。防災機能の一端を担う避難路の整備や漁業集落道の建設に関する工事に取り組んでいます。復興事業のさらなる進展に微力ながら努めています。



復興関連イベント

各地で開催される復興イベントをご紹介します。

【7月6日（金）、7日（土）】 気仙沼バル2018夏 ～気仙沼市～

お得なバルチケットを買って食べ飲み歩き、買い物もできる“気仙沼バル”が今年も開催されます。内湾エリア、田谷・田中前エリア等のお店が多数参加し、ライブや縁日もおこなわれる予定です。初めて会う人同士も仲良くなってしまうような楽しいイベントです。（巡行バスの運行あり）バルチケット好評発売中！ 前売り：¥2,300 / 当日 ¥2,500（3枚つづり）気仙沼バル実行委員会 <http://kesenumabar.com/>

【7月28日（土）】 志津川湾夏まつり福興市 ～南三陸町～

2011年4月に第一回の福興市が行われてから7周年を迎える南三陸福興市。今年度は全11回開催予定です。7月は“夏まつり福興市”として、志津川仮設魚市場（跡地）にて開催されます。夜にはメッセージ花火が打ち上げられます。12:00～21:00（花火打ち上げ19:45～）南三陸町観光協会 <http://www.m-kankou.jp/>

◆支所長コラム

東北北部も梅雨入りしました。昨年購入した除湿機をフル稼働してこの時期を乗り切りたいと思います。また、紙面の都合上掲載できませんでしたが、30年2月号に掲載した「魚市場CD棟」が5月末に完成しましたので紹介させていただきます。

さて、被災自治体では慢性的な人材不足が課題となっております。復興庁では、被災自治体に駐在する非常勤職員を採用する等、マンパワー不足解消に努めております。6月1日には復興庁非常勤職員として気仙沼市、南三陸町の両市町に各1名が配置されました。（今年度は気仙沼市に3名、南三陸町に1名の追加配置となっております。）

日本全国から応援を頂いております。慣れない土地で大変かと思われそうですが、ご健康にはくれぐれもご留意下さい。（吉）



はホ
は色
はチ
はオ
は焼
は塩
は粉
は揚
はて
はみ
は小
は麦
は粉
はが
はが
はな
は中
はで
は来
はて

これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

復興庁HP (<http://www.reconstruction.go.jp/>) → 宮城復興局 → 気仙沼支所だより「つちおと」

【編集後記】

◆冬布団をしまってから、朝、寒さで目を覚まします。炬燵は復活させました。

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301、FAX 0226-23-5310